

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R7. 8. 16

発行ナンバー 1207号
(鈴木主将の代・・・9号)

新人大会の結果

15日(金)新人大会が行われました。
結果は以下の通りです。

● 新人大会2回戦 対志木高校戦

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
志 木	0	0	0	1	1	0	0			2
市立浦和	0	6	0	1	0	2	×			9

次戦がシード校決定戦となります。

8月18日(月) 11時30分～
蕨高校 対 川口工業高校の勝者と
川口市営球場(1塁側)

引き続き、応援等よろしくお願い致します。

練習試合の結果

8月11日(火) 対本庄高校

第1試合 4対2 勝利
第2試合 1対2 敗退

8月12日(水) 対中大杉並高校

第1試合 7対5 勝利
第2試合 11対3 勝利

今季通算成績 11勝 8敗 1分

悔しい気持ち

夏季休業中、練習試合を多く実施しています。
(とにかく実戦重視、実戦を経験することによって個人の技術は伸びる、また、実戦で感じたことをその後の活動に活かしていくことが大事だという考えです)

本音で書かせていただくと・・・

新チームはかなり弱いです。

ただ、いつも話すんですが、弱い＝負けるではないのが野球という競技、弱いならではの戦い方を実践できるかどうか・・・(当たり前ですが、強いチームと同じような戦い方では、強いチームの方が勝ちます)

今後、練習試合も負けが先行していくと思いますが、大事なはその負けた試合でどのようなことを感じるか・・・ここまでの試合を観る限り、完全に個人個人の實力不足という感じ(接戦にはなっていますが、ここで1本打てば、ここでこの1人を抑えれば・・・という場面をものにできないが続いています)。大事なのは言い訳をせず、悔しさを今後の活動(努力)に結びつけられるかだと思います。

なぜそんなことを書いているかというと・・・
昨日の練習試合、ここぞという場面で打てなかった選手が今、私の目の前で早朝練習をしているからです。練習や練習試合で悔しい思いをして(練習に励み)公式戦の大事な所で1本打てるようになって欲しいです。

「悔しい」と思うこと・・・
とても大切だと思います。